

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成15(2003)年度第2回相互協力委員会議事録

日 時：2003年7月25日(金)13時半～17時

場 所：愛知学泉大学豊田キャンパス 管理棟第2会議室

出席者：鈴木卓美(金城学院大学) 浜口庸介(愛知大学) 足立祐輔(愛知学院大学) 丹羽直美(愛知学泉大学) 西本和雄(中京大学) 時實育代(日本福祉大学) 水野仁子(名城大学) 松永ひとみ(鈴鹿医療科学大学) 蓑島智子(中部大学)

計9名

欠席者：柴田なおみ(椋山女学園大学) 岩田真美(南山大学)

記 録：蓑島智子(中部大学)

【協議事項】

1. 一般開放状況調査について

前回の委員会で、データを最新の状態に保つため、調査依頼状を東海地区協議会から各館に発送してもらうよう理事校へ提案することとなっていたが、データ公開に応じられない図書館あるということで、標記の件については継続審議となった。

2. 「紀要・学内学会誌分担保存」の維持及び充実について

データを最新の状態に保つため、毎年案内文書を各図書館へ発送することとなった。案内文書は委員長が作成すること、データ更新は協議会ホームページを利用する方法で実施することとなった。現在公開されているデータにも修正が必要な箇所があるので、委員各自が再度ホームページをチェックし、どういう方法が見やすいのか等、意見を必ずMLにて連絡することとなった。

3. 東海地区協議会ホームページ相互協力委員会のページについて

- ・「データベース共同トライアル」のページについては、委員長が作業を行なうと報告された。
- ・委員会ホームページの更新、削除、新規追加は情報化委員会にお願いしているのが現状だが、徐々に相互協力委員会で実施していくことが確認された。
なお担当は委員長の他、次の3名に決定した。
足立(愛院大)・時實(日福大)・丹羽(愛泉大)

4. 情報交換会について

時實委員より、素案及び合同委員会で確認された内容に基づき説明があった。

- ・2003年度は情報化委員会と相互協力委員会合同で開催する。
- ・情報交換をメインとし、講演は行なわない。ただし各分科会にて事例発表を行なう。
- ・スケジュールの概要は下記の通りである。

10:00～10:30 アンケート報告

10:30～12:00 分科会

12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 分科会

15:00～16:00 全体会

- ・分科会テーマについて、素案では

(1) 学外者の利用について

(2) 利用度調査について

(3) 東海地区における相互貸借物流について

であるが、テーマの持ち方についてはもう少し検討したい。また全体のテーマは、今回は情報交換を主とするため特に定めないこととした。

・アンケートについて情報化アンケートに追加していただく形で実施する。

・業者デモ候補は下記の通りである。

M . B . A . 社 Super Habil

非接触型 IC チップ (RFID)

InfoCom

電子ペーパー (ゼロックス、トッパンなど)

以下について協議が行なわれた。

(1) アンケートについて

- ・相互協力委員会としてのアンケートは、2001年度相互協力委員会が実施した「OPAC 横断検索/相互物流に関する調査について」を今回のアンケートのベースとし、情報化委員会と重複した項目は削除することとなった。委員長がアンケート項目の確認を行い、素案を作成することとなった。
- ・その他新規のアンケート項目として、「廃棄」「分担保存」などが候補としてあげられたが、今後検討することとなった。

(2) 分科会テーマについて

- ・「東海地区における相互貸借物流について」については「図書館管理・運営実務責任者会議」で取り上げていただくべきテーマではないか、もう少し実務者レベルで有効な情報交換ができるようなテーマ設定がよいのではないかという意見があった。
- ・最終的には情報化委員会とあわせて5つぐらいの分科会を作ることとなった。
- ・素案のテーマの他、「ILL 全般」、「電子媒体の利用提供について」、「分担保存」、「図書館ホームページのあり方」、「IT 環境について」等意見がだされたが、今後メーリングリストで意見交換を行なうこととなった。なおテーマ設定の期限は8月末までとされた。

5 . 協力事業の推進について

標記について下記の意見があった。

- ・慶應・早稲田大学が中心となっている「私立大学図書館コンソーシアム」に委員会としても積極的に推進したらどうか
- ・他地区のデータベースの導入状況を把握し、少しでも安く導入できないか調査をしたらどうか
- ・Super Habil の地区横断検索を利用した ILL を実施したらどうか
- ・分担保存についても今後考えていきたい

6 . データベースの共同トライアルについて

委員長より資料に基づき説明があり、下記の内容が確認された。

- ・本日の日付で各図書館に案内を発送する
- ・1～2年はこの事業を続けていきたい
- ・説明会の会場は紀伊国屋にお願いする予定である
- ・説明会は11月12日(水)を予定する
- ・委員会として各図書館のトライアル実績データを入手したい

7. その他

リンクデータベースのリンク切れのチェックについては下記のように分担が決まった。
なお「000総記」の中での分担については丹羽委員が担当することとなり、MLで報告することとなった。

「000総記」丹羽(愛泉大) 柴田(椛山大) 西本(中京大) 岩田(南山大) 時
實(日福大) 水野(名城大) 松永(鈴鹿医療大) 蓑島(中部大)

「100哲学」「200歴史」足立(愛院大) 浜口(愛大)

8. 「データベース共同トライアル案内」発送作業

全員で、分担して発送作業を行った。郵送については、愛知学泉大学丹羽さんに依頼した。

以上